

テーマについての独自の见解や従来の研究に対する批判などが披歴されている。この点なかなか興味深い。藻類に興味をもち、かつ藻類学および生物学一般についての基礎知識をもつものにとって、藻類に関する研究の最近の進歩の概要を知り、またこれからの進展方向を考えるのに便利な本といえる。なお各章の終りには、最近発表になった論文が参考文献としてたくさん挙げられており、それぞれの問題を、さらに進めて考えたい人、または知りたい人にとって大変有難い。難点として、やや高価に過ぎることと、全体を通じて内容に一貫性を欠くことなどが指摘できるが、後者の点は、この本の成立過程から考えると、致し方ないということになる。 (千原光雄：国立科学博物館植物学二課)

### ROGICK 博士の訃

かねて病氣療養中であった MARY DORA ROGICK 博士は、1964年10月25日に New Rochelle 病院で58歳をもって永眠された。博士は Bryozoa の専門家て、28年間 New Rochelle 大学の動物学教授又は動物学教室主任の地位にあったが、各種の海藻類に着生する Bryozoa の多くの種を報告している。他面、彼女は趣味の人でもあり、又繊細なユーモアの持ち主でもあって、特に漫画やスケッチに特殊な才能を持っていた事は有名であるようだ。筆者はコブ類に着生する害敵生物の事から、近年になってから文通を始めたのであるが、年末になると自筆の漫画のほのぼのとしたクリスマスカードが届けられるので、どのようなお人柄なのか、お会いしたらきっと心が温まるだろうと想像していた。博士の研究分野は、水産界とは間接的ではあるが関連があり、御逝去に対して哀悼の意を表する。“Ohio Journal of Science” (65:4) に THOMAS J. M. SCHOPF 氏の追悼文が載っている。 (近江彦米)

### 太平洋学術会議出席のため来日予定の海藻学者

来る8月22日から東京で開催される第11回太平洋学術会議に出席申込みの海外の海藻学者及び講演題目(決定分のみ)は次の通りであります。\*印は来日未確定。

ABBOTT, ISABELLA A. (Hopkins Marine Station, Pacific Grove, Calif.).

DAWSON, E. Y. (Smithsonian Inst., Washington D. C.).

DOTY, M. S. (Univ. Hawaii, Honolulu). “Distribution of the Tropical Benthic Algae.”

HOLLENBERG, G. J. (Univ. Hawaii, Honolulu). Observations concerning the Distribution of Tropical and Subtropical Species of Polysiphonia and Herposiphonia.”

LEWIN, R. A. (Scripps Inst. of Oceanography, La Jolla).\*